

伴走支援 一段と強化

だいしん懇話会 理事長決意

大垣西濃信用金庫の取引先でつくる「だいしん経営者懇話会」は15日、新春懇親会を大垣市万石の大垣フオーラムホテルで開いた。会員や同金庫の役員ら約300人が出席し、社業発展へ思いを新たにしました。

「今年は半導体やDX（デジタルトランスフォーメーション）投資などが新たな成長エンジンとなり、地域の中小企業に大きなビジネスチャンスをもたらす」と見通し、「事業者への伴走支援を一段と強化し、資金繰り支援、事業再構築、DXへの投資などに金融と知見で寄り添い、地域経済の発展に努める」と強調した。

懇話会の稲川雅章幹事（稲川メタル社長）の発声で乾杯し、親睦を深めた。懇



新春懇親会であいさつする小川章理事長。大垣市万石、大垣フオーラムホテル

親会に先立って新春講演会もあり、信金中央金庫地域・中小企業研究所の角田匠上席主任研究員が「2026年 日本経済の現状と展望」をテーマに語った。

（小森直人）